

PharmaIN Corporation、米国肝臓学会（American Association for the Study of Liver Diseases : AASLD）The Liver Meeting® 2026 にて非代償性肝硬変を対象とした PHIN-214 第 1 相試験データのポスター発表について

— 第 1 相 PHIN-001 試験の初期の反復漸増投与（MAD）コホートから得られた安全性、薬物動態および薬力学に関する最新データを 11 月 5 日に発表予定 —

米国ワシントン州ボセル、2026 年 10 月 1 日 — 進行性肝疾患に対する新規治療法の開発を進める臨床段階のバイオ医薬品企業である PharmaIN Corporation は本日、非代償性肝硬変を対象とした同社のリード開発品 PHIN-214 の進行中の第 1 相臨床試験から得られた新たな臨床データを、2026 年 11 月 5 日から 9 日まで米国コロラド州デンバーで開催される米国肝臓学会（AASLD）The Liver Meeting® 2026 において、ポスター発表することをお知らせします。

PHIN-214 は、非代償性肝硬変患者における門脈圧の低下ならびに全身および腎血行動態の改善を目的として設計された、新規の皮下投与型 V1a 部分作動薬です。本ポスターでは、この患者集団を対象に PHIN-214 を評価している第 1 相 PHIN-001 試験の進行中の反復漸増投与（MAD）パートにおける初期コホートから得られた、安全性、薬物動態および薬力学に関する最新の結果を発表します。

PharmaIN の社長兼最高経営責任者である Elijah Bolotin, Ph.D. は、次のように述べています。

「肝臓学分野における世界有数の学術集会である The Liver Meeting において、これらのデータを発表できることは、PHIN-214 プログラムにとって重要なマイルストーンです。肝臓学コミュニティの皆様と今回の結果を共有するとともに、非代償性肝硬変患者に存在する大きなアンメット・メディカル・ニーズに対応する、利便性の高い皮下投与型の外来治療としての PHIN-214 の可能性について議論できることを期待しています。」

ポスター発表概要

演題名： EMERGING SAFETY, PHARMACOKINETIC, AND PHARMACODYNAMIC RESULTS OF THE FIRST MULTIPLE-ASCENDING DOSE COHORT FROM THE PHASE 1 PHIN-001 STUDY OF PHIN-214 IN ADULTS WITH DECOMPENSATED CIRRHOSIS

（非代償性肝硬変成人患者を対象とした PHIN-214 第 1 相 PHIN-001 試験における最初の反復漸増投与（MAD）コホートの安全性、薬物動態および薬力学に関する最新結果）

著者： Eric Lawitz¹, Tarek Hassanein², Jacqueline O’Leary³, Anita Kohli⁴, Mangesh Pagadala⁵, Ethan Weinberg⁶, Christina C. Lindenmeyer⁷, Gary Reiss⁸, Douglas A. Simonetto⁹

¹ Texas Liver Institute, University of Texas Health San Antonio, ² Southern California Research Center,

³ Dallas VA Medical Center, ⁴ Arizona Liver Health, ⁵ The Liver Institute at Methodist Dallas, ⁶ University of Pennsylvania, ⁷ Cleveland Clinic, ⁸ Tandem Clinical Research, ⁹ Mayo Clinic Rochester

抄録番号： 1499

セッション： Portal Hypertension and Other Complications of Cirrhosis（門脈圧亢進症およびその他の肝硬変合併症）（1450-1688）

日時： 2026 年 11 月 5 日（木） 午前 8 時～午後 5 時（MST）（発表時間：正午～午後 1 時 MST）

会場： Colorado Convention Center, Denver, Colorado

本ポスターは、発表終了後、PharmaIN のウェブサイト（www.pharmain.com）に掲載される予定です。

PHIN-214 について

PHIN-214 は、新規の V1a 部分作動薬であり、門脈圧亢進症において臨床的に検証された作用機序を標的とするよう最適化された昇圧製剤です。利便性の高い皮下注射として投与される PHIN-214 は、非代償性肝硬変患者における門脈圧亢進症に伴う合併症の管理において、安全で実用的な治療選択肢となる可能性があります。

PHIN-214 は現在、非代償性肝硬変患者を対象とした第 1 相臨床試験において評価されています（NCT05490888）。

PharmaIN Corporation について

米国ワシントン州ボセルに本社を置く PharmaIN Corporation は、ペプチドエンジニアリングを通じて、ファースト・イン・クラスおよびベスト・イン・クラスの皮下投与型治療薬の開発を推進する臨床段階のバイオ医薬品企業です。

標的特異的な生物学、ペプチド医薬品設計、および革新的な薬物送達技術に関する専門性を活かし、進行性肝硬変および、がん疾患に対する新規治療法の開発に注力しています。

詳細については、www.pharmain.com をご覧下さい。

メディア、投資についての問い合わせ：

BD@pharmain.com